

サマーセミナー2009報告

山下 淳¹⁾, 野村 安國²⁾, 村松 正吾³⁾, 村上 和人⁴⁾

1) 静岡大学 2) ファースト 3) 新潟大学 4) 愛知県立大学

2009年度のサマーセミナーは、8月27日～28日の2日間、三重県鳥羽市の伊勢志摩国立公園／鳥羽・安楽島 岬の宿 高砂において開催された。学生の発表は若葉研究会31件、チュートリアルセッションでは講師の先生2名に特別講演をお願いした。参加者数は企業7名、大学教員17名、学生46名の合計70名であった。以下、セミナーの概要について述べる。

1. はじめに

第19回目となる今回のサマーセミナーは、三重県鳥羽市において、8月27日から28日の2日間にわたり合宿形式で開催された。映像情報メディア学会メディア工学研究会との共催で開催されたサマーセミナーとしては、2004年以来、今回で6回目となる。

サマーセミナーの主目的は、学生や企業の若手研究者など若葉研究者に研究発表の場を提供すると同時に、若葉研究者と研究指導者（企業研究者や大学教員）の交流、両学会の研究室や研究者同士の交流を図ろうとするものである。

2. 開催準備と実施形態

2008年10月から企画を開始し、両学会で検討を重ねた。共催となってからは両組織が交代で主担当となっており、今回は画像応用技術専門委員会が中心となった。以下に示す企画委員会を設置し、山下淳企画委員長のもと、野村安國幹事（画像応用技術専門委員会）、村松正吾幹事（メディア工学研究会）、村上和人委員（メディア工学研究会）が中心となって準備を行った。

サマーセミナー2009 企画委員会（敬称略）

画像応用技術専門委員会側

- ・ 山下 淳（静岡大学、企画委員長）
- ・ 野村 安國（ファースト、幹事）
- ・ 糊澤 信（旭硝子）
- ・ 渋谷 久恵（日立製作所）
- ・ 中野 宏毅（日本IBM）
- ・ 藤原 孝幸（中京大学）

メディア工学研究会側

- ・ 村松 正吾（新潟大学、幹事）
- ・ 村上 和人（愛知県立大学）
- ・ 青木 義満（慶應義塾大学）
- ・ 佐藤 美恵（宇都宮大学）

優秀な若葉研究会での発表者に贈られる優秀発表賞については、10名で構成される優秀発表賞審査委員会を設置して審査を行った。例年と同様、

審査委員会のメンバー全員がすべての発表を聴講することで公正かつ平等な審査を行った。

優秀発表賞審査委員会（敬称略）

代表委員会

- ・ 山下 淳（静岡大学、企画委員長）
- ・ 輿水 大和（中京大学、画像応用技術専門委員会副委員長）
- ・ 吉田 俊之（福井大学、メディア工学研究会委員長）
- ・ 村上 和人（愛知県立大学、メディア工学研究会副委員長）
- ・ 村松 正吾（新潟大学、オブザーバ）

審査委員（50音順）

- ・ 梅田 和昇（中央大学）
- ・ 奥平 雅士（東京都市大学）
- ・ 糊澤 信（旭硝子）
- ・ 渋谷 久恵（日立製作所）
- ・ 秦 清治（香川大学）

3. サマーセミナー報告

3.1 参加者数と開催状況

参加者数は、企業7名、大学教員17名、学生46名の合計70名（男性59名、女性11名）であり、過去最多となった。御協力頂いた関係各位に感謝申し上げたい。

会場としては座敷部屋を用意し、座布団に座りリラックスした気分で発表を聞いてもらうように心がけた。

3.2 チュートリアルセッション

今年度は「膨大なメディア情報にビジョン技術が射す光」というテーマのもと、2名の講師の方に特別講演をお願いした。

初日には、渡邊恵理子氏（科学技術振興機構／日本女子大学）に「光演算に基づく情報処理システム～画像・動画識別システムから高精度計測まで～」という題目で、ホログラフィック光ディスクを用いた画像処理にはじまり、動画検索、光を用いた生体計測など、幅広い話題を御提供頂いた。

2日目には、倉爪亮氏（九州大学）に「ロボットによるロボットのための環境情報構造化」と題して、移動ロボット群によるロボットのための3次元環境計測、分散カメラのキャリブレーション、埋設ICタグのキャリブレーション技術などについて御講演頂いた。

いずれの御講演も、ビジョン技術を用いた「膨大なメディア情報」の処理に関する指針を示して頂けるものであった。また、これからの研究開発を担う若い人達をエンカレッジする意味で、研究に対する心構えや御自身の経験談などを語って頂き、非常にためになる御講演であった。

お忙しい中御講演頂いたお二人にはこの場を借りて心より感謝申し上げます。なお、座長はそれぞれ山下淳氏（静岡大学）、渋谷久恵氏（日立製作所）をお願いした。

3.3 若葉研究会

学生の発表は若葉研究会31件であり、ほぼ例年通りの件数が集まった。座長は、村松正吾氏（新潟大学）、佐藤美恵氏（宇都宮大学）、堀田政二氏（東京農工大学）、藤原孝幸氏（中京大学）、中野宏毅氏（日本IBM）をお願いした。

学生からの質問が活発であり、贅沢を言えば議論の時間がもっと欲しいと思えるような発表会になった。発表者・聴衆ともに良い刺激を受け、参加者全員が充実感を持って終了した。限られた時間の中、円滑なセッション進行をして頂いた座長各位には感謝したい。

最終日には優秀発表賞の発表が行われ、以下の2名の受賞者が表彰された（図1）。

優秀発表賞受賞者（発表順、敬称略）

片岡 裕雄（慶應義塾大学）

松井 彰良（静岡大学）

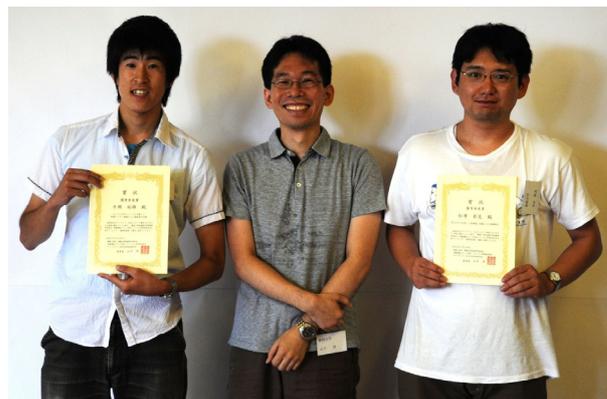


図1 優秀発表賞受賞者（左：片岡氏，右：松井氏）と山下企画委員長（中央）

3.4 懇親会

昼間のセミナーと同じ座敷部屋において懇親会を行った。参加者全員が簡単な自己紹介を行い、親密な雰囲気の中、世代を超えたタテの交流、同世代のヨコの交流が行われた。宴会の終盤には恒例のカラオケ大会もはじまり、大いに盛り上がった。会場設置にあたった愛知県立大学、静岡大学の学生アルバイト各位に感謝したい。

4. おわりに

今年度のサマーセミナーも、楽しい雰囲気のうちは無事終了した（図2）。サマーセミナー2009の準備にあたりお世話になった皆様には、紙面を拝借して感謝の意を表したい。特に、御好意より夕食では特別に伊勢海老を出して頂き、懇親会ではあらゆる飲み物や食べ物の持ち込みをお許し頂いた高砂のスタッフの皆様には厚く御礼申し上げます。

次のサマーセミナーは、村松正吾企画委員長（新潟大学）を中心に企画を行い、2010年夏に開催する予定である。



図2 サマーセミナー2009参加者集合写真（2009年8月27日 高砂 大広間にて）